

2020年1月16日

輸送動向について（2019年度第3-四半期）

1. 輸送概況

第3四半期は、10月に上陸した台風19号の影響に伴い、東北・武蔵野・中央線が甚大な被害を受け、復旧までの間、トラック・船舶による代行輸送及び日本海縦貫線を経由した迂回運転を実施した。

コンテナは、関東地区の建設発生土などエコ関連物資が順調に推移したほか、九州向けの利用回復および鉄道シフトが進む積合せ貨物、東海・九州地区間で好調な発送となった自動車部品が前年を上回った。

一方、国内需要が落ち込む紙・パルプ、清涼飲料水・ビールの販売不振が続く食料工業品、台風19号の影響を受けた北海道産の農産品・青果物、米中貿易摩擦の影響により需要減となった化学工業品、化学薬品が前年を下回った。コンテナ全体では前年比93.0%となった。

車扱は、石油が10月に増税前の駆け込み需要の反動減があったことに加え、台風19号の影響で輸送が停滞したことによって減送となった。車扱全体では前年比95.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比93.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	3-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,235	5,629	93.0%
車 扱	2,335	2,451	95.3%
合 計	7,570	8,080	93.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	545	611	-66	89.1%
	化学工業品	448	492	-44	91.1%
	化学薬品	345	366	-21	94.4%
	食料工業品	847	919	-72	92.2%
	紙・パルプ	623	742	-119	83.9%
	他工業品	355	388	-33	91.3%
	積合せ貨物	755	744	11	101.4%
	自動車部品	217	212	5	102.4%
	家電・情報機器	97	110	-13	88.0%
	エコ関連物資	148	120	28	123.8%
その他	856	924	-68	92.6%	
	コンテナ計	5,235	5,629	-394	93.0%
車 扱	石油	1,599	1,692	-93	94.5%
	セメント・石灰石	354	370	-16	95.7%
	車 両	227	238	-11	95.6%
	その他	155	151	4	102.1%
	車 扱 計	2,335	2,451	-116	95.3%
合 計		7,570	8,080	-510	93.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)